

壬生野地域まちづくり協議会
〒519-1424 伊賀市川東 4539 番地の 4
壬生野地区市民センター内
Tel : (45)8900 ・ Fax : (45)8901
E-mail: tokimeki@ict.ne.jp
URL: http://www.mibuno.net



年頭にあたって < 会長 山岡 耕道 >



新年明けましておめでとうございます。
皆様方には、ご家族お揃いでよいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年末、第3次安倍内閣が発足。経済政策「アベノミクス」をさらに進めるとのこと、国民生活が着実によくなることを大いに期待するものであります。
伊賀市では、本庁舎や新消防庁舎の移転新築が決定し、川上ダム建設も一定の方向が示される一方、いがまち地域に関する問題として伊賀支所・西柘植市民センター・いがまち公民館等を除却し「ふるさと会館いが」への機能集積を図る公共施設最適化計画が進められようとしています。皆様方には、のちに来る時代への責任のもと一人一人の問題として大いに関心を持ち問題解決への取り組みをいただきたいと思っております。
壬生野地域まちづくり協議会といたしましては「自然と調和した安心・安全・元気なまちづくり」を基本理念のもと、各委員会で取り組みを進めてまいりました。特に近年被害が多発している鳥獣害の問題や、高齢化と健康志向が相まって健康福祉関係に、多くの皆様方の参画をいただきまして誠にありがとうございました。また、予期せぬ自然災害が多発している昨今、防災意識の高揚を図る取り組みがますます重要性を帯びてまいりました。自助、共助の意識を各区との連携のもと取り組みを深めたいと思っております。
本年も更なるご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、明るい年となりますようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

視察研修会 < 鳥獣害対策先進地視察 >

- 鳥獣害対策実行委員会 -



11月22日(土)兵庫県篠山市に向けて、総勢44名の参加者を乗せたバスが鳥獣害先進地視察研修に出発しました。お天気にも恵まれ、また、紅葉の見ごろとあって、道中紅葉を楽しみながら一路研修に向かいました。心配していた渋滞に遭遇することもなく、予定通り研修地に到着しました。昼食をすませ、研修を開始。神戸大学の布施未恵子先生に概要の説明を受けたのち、現場に向かい、今谷集落、火打岩集落の2か所を視察しました。布施先生、今谷自治会長の山内一隆さんの熱意溢れる説明に、皆身を乗り出して見入っていました。特に「サル用電気柵」「サル捕獲用の檻」の設置状況を実地に見学することができ、収穫の多い視察研修となりました。帰路は研修の反省話に花を咲かせながら親睦を深めました。

伊賀分団が準優勝!!

去る10月19日、伊賀市消防団主催による第1回伊賀市消防団消防ポンプ操法大会が伊賀広域防災拠点(伊賀市荒木)で開催されました。

この大会は、消防団員が消火技術の向上並びに初期消火のための必要な技術を身に付け、いかなる状況下においても、迅速、確実かつ安全に行動できるように、常に訓練を重ね、技術練磨に励み、「規律・節度」「敏しよ性」「確実な動作」「安全性」「チームワーク」を養うことを目的とし、伊賀市消防団の各分団から代表1隊、計10隊



で争われました。

このポンプ操法は、小型ポンプやポンプ車を使って水をくみ上げ、火点と呼ばれる的を倒す競技で、要領通りに正確に素早く火点を倒す技術を競います。小型ポンプ操法の1隊は、指揮者、1番員、2番員、3番員、補助員、補欠員の6名から構成されています。

伊賀分団では第3部(壬生野地区)から選手を募り、優勝を目指して約2ヶ月間の訓練に励みました。

当日は風が強く、火点をうまく倒せない隊がある中、伊賀分団は訓練の成果を発揮し、準優勝と2名の個人賞を獲得しました。

この大会で良い結果を残せたことはもとより、選手が目標に向かって共に取り組めたことや、団員相互の絆が深まったことなどが今後の消防団活動に生かされると信じています。

提供 山本眞司氏(伊賀分団第3部長)

「白藤の会」が開催されました

～ 健康福祉実行委員会だより ～



11月15日(土)山畑農事集会所をお借りして、壬生野地区80歳以上の方及びスタッフ96名の参加で行いました。

この会は、今年で17回目を迎えました。

昨年度と同様「しらふじの会実行委員会」を結成して実施の運びとなりました。「しらふじの会」はもともと民生委員の壬生野協議会で発足したのですが、まちづくり協議会健康福祉実行委員会と重なるところもあり、ここ数年、私たち健康福祉実行委員会、各区の民生委員・各地区の福祉協力員のメンバーで「しらふじの会実行委員会」を作って進めてきました。今年は、実行委員長壬生野地区民生委員代表の芳見彰さんのもと、実行委員(平地健康福祉実行委員長より)のメンバーが準備、送迎、会の進行等

分担して進めました。

また、当日には、壬生野地区内の区長の応援も得て盛会裏に終わることができました。

この日は穏やかな小春日和で、出かけて頂くのに大変よい日にめぐまれました。鑑賞には、「玉すだれ」、「手品」などの巧みな演技を岡村正さんを中心とした方々に演じて頂きました。なかでも「玉すだれ伊賀バージョン」は4人の呼吸を合わせた演出、演技でした。

もう一つは、懐かしいたくさんの方の演歌を名張の石川正昭さんが歌いまくってくれました。何度も、いがまちにはお越しいただいているようで知り合いの方々もお見えでした。

さらには、ピンゴゲームや互いの懇親にも弾み、くつろぎの場としていただいたと思っています。お元気で来年もまたを合言葉に今年の「しらふじの会」を終えました。

参加頂いた皆様方大変ありがとうございました。今後もこの出会いを続けていきたいと考えます。

防災意識について

< 川西老人クラブ >

10月30日(木)、川西老人クラブ(会長;中林正彦)34名で阪神・淡路大震災の体験研修の出来る”人と防災未来センター“(神戸市)を訪れ、今後発生すると言われる東南海地震に備えた研修を行い、普段自宅・地域周辺にいる確率の高い高齢者としての震災意識を高めました。



ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せ下さい。

壬生野地域まちづくり協議会 広聴・広報実行委員会 TEL: 45 - 8900